

# 津山市立図書館

---

## 40年のあゆみ

昭和53年～平成30年  
(1978～2018)

# 昭和50年8月（1975年）

## 津山市中央公民館内 図書室開設

津山市立図書館の前身である「図書室」が中央公民館内（山下97-1）に開設されました。

この後、市立図書館開設に向けての市民活動が始まり、署名活動や良書の掘り起こし献本運動が行われました。

図書室開設時の蔵書数は5,363冊でした。

※参考 2017年3月末蔵書数 459,866冊  
（本館、地区館3館、自動車文庫、保管庫の総計）

# 昭和53年4月（1978年）

---

## 津山市立図書館開館

行政・市民運動の支援により津山市図書館条例が制定され、「図書室」から「津山市立図書館」として同地に開館しました。

ここから図書館としての一步をふみだしました。図書館開館時の蔵書数は16,771冊でした。

# 津山市立図書館 (中央公民館図書室)

初代図書館は現郷土博物館の西側にあり  
当時の中央公民館内に設置されました。  
現在は観光センター敷地になっています。



蔵書数は、昭和58年の移転までに  
5,363冊から約3万冊に増えました。

貸出カウンターもちいさく  
時間の流れもおだやかでした。



# 昭和54年5月（1979年）

---

## 自動車文庫（初代） 「さつき号」 巡回開始

いつも近くでご利用いただける図書館を目指し  
自動車文庫「さつき号」が巡回を開始しました。

現在も三代目自動車文庫「ぶっくまる」が巡回  
しており、お家の近くや小学校で図書館を利用  
できます。

# 初代自動車文庫 「さつき号」



納車前の架装作業の様子



たくさんのお子どもたちに愛されました。



1996年（平成8年）3月に引退しました。16年10ヶ月の活躍でした。

# 昭和58年1月（1983年）

---

## 津山市立図書館移転 旧図書館開館

昭和57年8月に津山市役所が新庁舎（山北の現庁舎）に移転しました。

それに伴い、空施設となった旧市役所東棟（山下92）を改装し、暫定ですが新図書館として移転開館しました。



旧図書館は現郷土博物館の東側にありました。現在は市営駐車場になっています。





# 旧図書館内の様子

コンピュータのない時代  
貸出しは貸出カードに記入して管理して  
いました。



みなさんそれぞれに図書館を楽しま  
れているようです。  
夢中で本を読む姿は、今も昔も変わら  
ない光景です。

# 平成2年4月 (1990年)

---

## 津山市立図書館 建設準備室開設

旧図書館の施設は旧市役所庁舎を改装した暫定的なものでした。そこで新たな図書館を建設すべく準備室が開設されました。

津山市立図書館建設懇談会が設置され、市民1,000人を対象に「図書館に関するアンケート」調査、「みんなで語る市立図書館」シンポジウムなどが開催され、新図書館の建設にむけての活動が活発に行われました。

# 建設準備室設置



建設準備室設置当日。  
暫定図書館は市の規模としては小さく  
新図書館の建設が望まれました。



旧図書館平面図 広さは現在の図書館  
の3分の1程度でした。

中でも児童コーナーは手狭で、明るい  
閲覧スペースや児童書の充実が一番の  
課題でもありました。

# 平成8年4月 (1996年)

---

## 自動車文庫 (二代目) 初代「ぶっくまる」 巡回開始

自動車文庫「さつき号」の後を受け継ぎ、初代「ぶっくまる」が巡回を開始しました。

所蔵能力は約3,600冊! 「さつき号」の約2倍と大幅に増え、今まで以上に図書館が身近になりました。「ぶっくまる」の名称は公募により命名されました。

# 自動車文庫（二代目） 初代「ぶっくまる」



納入前の最終チェックの様子



暑い日も、寒い日も、雨の日も、風の日も、雪の日も・・・本当によく頑張りました。



2009年（平成21年）8月に引退しました。13年5ヶ月の活躍でした。南アフリカ共和国に寄贈されました。

# 平成9年4月 (1997年)

---

## 図書館電算システム稼働

コンピュータの普及により、図書館業務においても電算化の時代がやってきました。

それまで紙で管理していた蔵書や貸出記録が全て電算化され、業務の効率が大幅に向上しました。

すべての本にバーコードラベルをはり、資料のデータ化を行う作業を行いました。

# 図書館電算化

全ての資料にバーコードをはり、資料をデータ化するため少しの間休館し、蔵書点検と合わせて作業を行いました。

電算化された貸出コーナーです。今ではあたりまえですが、一瞬で貸出しが出来るシステムは、当時は大変画期的でした。



おなじみのごんちゃん貸出券もこの時に登場しました。



# 平成11年3月（1999年）

---

## 引越し

念願の新図書館が完成し、新図書館オープンに向け、資料などの引越しをおこないました。

図書館開館以来、はじめて図書館のためだけに作られた施設とあって、今まで出来なかったサービスも、所蔵できる本の数も、図書館の大きさも、何もかもがスケールアップし職員も期待に胸が躍ります。

・・・しかしながら、引越しは予想以上に大変でした。





全部の棚に番号を振りそれぞれ段ボール箱に詰め込みます。  
膨大な量のおもたい段ボール箱が積み重なり、約12万冊分の荷物が出来ました。





①「うわー、ひろーい！」新図書館の想像以上の広さに驚く職員たち。書架や家具の設置が遅れており何もありません



②ようやく書架が組み立てられ始め、出来たところから本の搬入が始まりました。



③あらかじめ指定した番号の場所に同じ番号の段ボール箱が並べられていきます。



④図書を段ボールから出してどんどんならべていきます。運輸業者さんも職員も必死です。はたして間に合うのか？

# 引越し



⑤最後の本が旧図書館を出発しました。



⑥準備は本だけではありません。電算システムも組み上げ中。本当に間に合うのか？



⑦関係者全員の「絶対に間に合わせる！」との思いのもとなんとか間に合いました。

# 平成11年4月（1999年）

---

## 新図書館オープン

かねてからの建設計画により、アルネ・津山内に新図書館が設置され、当時全国的にも珍しい、商業施設と公共施設が同居する「複合施設」として、アルネ・津山と同時オープンしました。

面積はこれまでの約3倍となり、開館時の所蔵数は123,519冊、所蔵能力は約25万冊（旧図書館は約12万冊）、読み聞かせブースや視聴覚コーナー、広い閲覧スペースが設けられ、貸出しも津山市民限定から津山圏域住民に拡大されました。

# 新図書館開館



とても広く、きれいな図書館になりました。  
蔵書は旧図書館より1万冊増えましたが、  
広い書架にはだいぶ余裕がありました。

窓からは中心街が一望でき、鶴山の桜も良  
く見える眺めの良い図書館です。



# 新図書館開館

オープン初日から2週間までの様子。  
多くのお客様が来館され、新しい図書館の完成を喜ばれていました。



# 新図書館開館

オープン2週間後の館内です。  
広い閲覧スペースを設けたことで、  
多くの方が図書館内でゆっくり過ご  
すことが出来るようになりました。



# 平成13年9月（2001年）

---

## ブックスタート開始

津山市のブックスタート事業  
「絵本を通じて親子がふれあいの時間を持ち、  
こどもの心を育む機会をもつことを推奨する」  
活動がスタートしました。

図書館も乳児健診（生後3ヶ月）に訪問して、  
読み聞かせの大切さや、図書館の利用についてご  
案内をしており、現在も活動を続けています。



# ブックスタート



初回の様子。絵本を読むとじいーっと本を見てくれました。本を見る習慣を大切に。



ブックスタート開始当初は乳幼児向けの絵本を特集して紹介しておりました。



現在は乳幼児向けの絵本や、子育てに関する本を集めて「子育て支援コーナー」をつくり、親子でくつろいでいただける空間となっています。

# 平成14年5月（2002年）

---

## 図書館新システム稼働

図書館に電算システムが導入されて5年たち、情報ネットワーク環境が大幅な進歩をとげるなか、これに対応する新しいシステムが導入されました。

この新システムにより、当時普及しつつあったインターネットの閲覧が館内で可能となり、CD-ROMによる資料の提供や、携帯電話からの蔵書検索など、新たなサービスが提供できるようになりました。 ※CD-ROM等一部サービスは現在廃止しております。

# 新システム稼働



新システム稼働式の様子。  
インターネット閲覧用のパソコン  
を設置し、館内でインターネット  
の閲覧ができるようになりました。

県内初となる携帯電話か  
らの検索サービスなど情報  
化社会に対応したシステム  
となりました。

山陽新聞 平成14年5月14日

津山市立図書館 新システム 稼働式  
インターネット・CD-ROM検索サービス開始

## 市立図書館 新システム稼働

### 県内初携帯でも検索

市立図書館（元正野町）が利用者サービス向上を目的に導入した新システムの稼働式が十二日、アルネ・津山（新魚町）四階の図書館で開かれ、関係者約十五人が完成を祝った。

## サービス向上を図る

中尾副市長が「情報」康徳教育長らがテーブ  
化に対応し、機能面で「カットした後、運用開  
も図書館の存在感を高「始ボタンをクリックし  
めていきたい」とあい  
さつ。中尾市長や松尾

新システム導入に伴  
い、インターネット閲覧  
用パソコンと、市例集  
や百科事典など同図書館  
所蔵のCD-ROM資料  
を利用できるパソコン各  
一台を新設。約十六万七  
千冊の蔵書を検索できる  
既設のパソコン二台も内  
容を一新し、書名や著者  
名などから自由に検索で  
きるフリーワード検索  
や、検索した資料の保  
管場所が表示できるな  
ど機能を大幅に強化し  
た。

また、県内の図書館で  
は初めて携帯電話（二  
部機種除く）を利用し  
た蔵書検索や休館日な  
どの案内も開始。アド  
レスはhttp://tsuyama  
mnhb.tvy.ne.jp/no  
w

新システム稼働を祝っている  
市立図書館

パソコンでのインター  
ネット検索はhttp://t  
suyamamnhb.tvy.ne.jp

山陽新聞 平成14年5月14日記事

# 平成17年2月（2005年）

---

## 市町村合併による 図書館の合併

津山市、阿波村、加茂町、勝北町、久米町が合併し、新たに津山市としてスタートしました。

図書館も津山市立図書館を本館に、加茂町図書館、勝北図書館、久米図書館を地区館とした市内4館体制となりました。4館はオンラインで結ばれ、どの館の本でも、近くの図書館で受取・返却が可能となっています。



津山市立久米図書館



1枚の貸出券で4館  
すべてをご利用いた  
だけます。



津山市立加茂町図書館

加茂町  
図書館

津山市立図書館4館はオンラインで結ばれ、  
お近くの図書館で受取・返却ができます。

久米  
図書館

勝北  
図書館

津山市立図書館（本館）

津山市立図書館

津山市立勝北図書館

(本館)  
アルネ・津山

+



自動車文庫



# 平成20年4月（2008年）

## 三館相互協力協定締結

美作大学附属図書館（当時）、津山工業高等専門学校図書館、津山市立図書館の三館において、相互協力協定が締結されました。

平成20年10月には市内の全ての高校6校とも相互協力協定を結びました。

この協定により、市内全ての大学、高専、高校が相互に資料を共有することが可能になりました。

高等教育機関と高等学校の図書館、公共図書館を包括する相互協力は全国的にも例が少なく、先進的な取り組みとして注目を集めています。

# 三館相互協力協定



津山市立  
図書館

美作大学  
図書館

各館は相互に資料の借受返却  
が可能になり、搬送は津山市  
立図書館が担っています。

津山高専  
図書館

市内高校  
図書館

- 津山高等学校
- 津山工業高等学校
- 津山商業高等学校
- 津山東高等学校
- 美作高等学校
- 作陽高等学校



左より  
美作大学キャラクター 「ミマッちゃん」  
津山市立図書館キャラクター 「ごんちゃん」  
津山高専キャラクター 「てくにゃん」

三館連携10周年を迎えました！

現在では、市立図書館の貸出券があればどなたでも「美作大学・津山高専で市立図書館の本を受取・返却」「市立図書館で美作大学・津山高専の本を受取・返却」ができます。高校図書館においては、生徒・教職員の方を対象として「それぞれの高校図書館で美作大学・津山高専・他高校・市立図書館の本を受取・返却」ができる非常に便利なサービスとなっています。大学・高専・各高校図書館の協力のもと、資料の搬送を津山市立図書館が行うことにより、現在も安定したサービスを提供し続けています。

# 平成21年9月（2009年）

---

## 自動車文庫（三代目） 二代目「ぶっくまる」 巡回開始

現在活躍中の二代目「ぶっくまる」が巡回を開始しました。

所蔵能力は約4,200冊！公民館、小学校を中心に市内各地を巡回しています。



# 自動車文庫（三代目） 二代目「ぶっくまる」



製作作業の様子。それぞれの図書館の仕様に合わせて1台1台手作りされています。



運行式後、皆さんに見送られ初めての巡回に。



所蔵量は約4,200冊！過去最大の所蔵能力です。



運行日数149日、延べ446カ所を巡回しています。  
※平成28年度実績

# 平成22年3月（2010年）

---

## 津山市立図書館本館 リニューアルオープン

「ICタグ方式の自動貸出システムとゲート」を導入し、お客様ご自身で本の貸出手続きが可能になりました。

「子育て支援コーナー」や「しぜんコーナー」を新設して、より親子でご利用しやすい図書館としてリニューアルオープンしました。



# リニューアルオープン

このリニューアルでしぜんコーナーを新設しました。自由研究の題材におすすめの資料をたくさんご用意しています。



自動貸出機が導入され、お客様ご自身で貸出手続きが出来るようになりました。



子育て支援コーナーでは、乳幼児対象の絵本や子育ての本を集めています。「小さなこどもの絵本の時間」読み聞かせ活動も定期的を開催しています。

# 平成23年10月（2011年）

---

## 放送大学津山教室開設

放送大学津山教室開設に伴う連携調印式が行われ、連携岡山学習センターと津山市との間で覚書が締結されました。

この締結により、津山市立図書館内に放送大学津山教室が開設され、放送大学生と一般利用者の方を対象に、同大学の教材が図書館でも利用できるようになりました。

# 放送大学 津山教室開設

県内で放送大学を利用できる施設は  
岡山学習センター、新見学術交流センター内図書館、  
津山市立図書館の3ヶ所となっています。



館内に専用の学習室を設け、集中できる環境でご利用いただけます。



年数回、放送大学と連携して、様々な分野の講師を  
招き、どなたでもご参加いただける講座を開催して  
います。

# 平成29年8月 (2017年)

---

## 来館者数 700万人達成！

市立図書館の来館者数が700万人（アルネ・津山4階移転開館から）に達し、700万人達成の記念セシモニーを行いました。

アルネ・津山移転後に来館者数計測を始め、平成11年4月から18年5ヶ月での達成でした。

# 700万人達成！

平成11年4月の移転開館から18年5カ月で達成いたしました。



700万人目の来館者様に、認定証と花束、第10回津山国際総合音楽祭の招待券と図書館オリジナル貸出しバッグをお贈りしました。

# 平成30年1月（2018年）

---

## 三館協力協定 10周年記念事業開催

美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館、津山市立図書館の三館において、相互協力協定が締結されてから10周年を迎え、これを記念して記念映像を作成上映し、講演会・パネルディスカッション等を開催しました。



# 三館連携10周年

教育機関と公共図書館との資料の貸借システムの確立は難しく、10年稼働維持しているのは津山市だけで、まさに「津山モデル」と言える取組みです。



岡本真さんの講演会、有識者を集めたパネルディスカッションは大変好評をいただきました。今後も事業のさらなる発展に取り組みます。



三館連携 10 周年記念事業  
記念講演会・パネルディスカッション

## 「地域と暮らしを おいしくする図書館」

2018年 1月20日(土)

受 付: 13:00~  
記念事業: 13:30~16:30  
会 場: 美作大学 (津山市北園町 50)  
美作学園創立 100 周年記念館 5 階  
※ 参加無料・事前申し込み不要

2008年4月18日、津山市立図書館、美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館の三館が結んだ相互協力に関する協定により、市民の皆さんは以下のサービスが利用できるようになりました。

- ・津山市立図書館の本を予約して、大学図書館や高専図書館で受け取る
- ・津山市立図書館で借りた本を、大学図書館や高専図書館で返却する
- ・津山市立図書館で、大学図書館や高専図書館の本を借りる＆返却する  
(※・高専図書館に直接予約してある借りる＆返却することも可能です)

この協定の10周年を記念し、記念式典を開催します。  
皆さん、ふるってご参加ください！

**記念講演会「地域をひらく未来の図書館」**  
講師 岡本真氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役)

全国には3000を超える地域のための公共図書館があり、地域の人たちに親しまれています。全国の図書館を訪問していると、それぞれに個性があり、地域の人もいるいるな使い方や関わり方をしていることがわかってきました。「本を借りる」だけではもったいない、地域の図書館の魅力の引き出し方を考えます。

著書：『ライブラリー・リソース・ガイド』編纂  
『未来の図書館はじめませんか？』『図書館100選発』ともに青弓社

三館連携 10 周年記念事業 実行委員会

問合せ先：津山市立図書館 津山市新魚町 17 アルネ・津山 4 階  
TEL：0868-24-2919